部会報告

ISO/TC 127/SC 2/WG 21 (ISO 5010 土工機械—ゴムタイヤ式機械— かじ取り装置要求事項)

2016年 10月オランダ・アムステルダム 国際作業グループ会議報告

標準部会 ISO/TC 127 土工機械委員会国際専門家(Expert) 間宮 崇幸(コマツ)

国際標準化機構 ISO の専門委員会 TC 127 (土工機械) 傘下の国際作業グループ ISO/TC 127/SC 2/WG 21 (ISO 5010 土工機械―ゴムタイヤ式機械―かじ取り装置要求事項 改正) 作業グループ会議が 2016 年10 月にオランダ国アムステルダム市で開催され,前回 2016 年4 月に引き続き,協会標準部会 ISO/TC 127 土工機械委員会から国際専門家 (Expert) として出席した間宮崇幸氏の報告を紹介する。

1 **開催日**: 2016 年 10 月 17-18 日

2 開催地: オランダ アムステルダム スキポール空 港内 Conference Exchange Avenue The Ruyter 会議室

3 出席者: 11名スウェーデン (SIS) 2名米国 (ANSI) 4名英国 (BSI) 2名ドイツ (DIN) 1名

イタリア(UNI)1名

日本(JISC)1名

4 概要

- ・2016年9月に承認されたCD投票時の各国意見 の扱いについて検討した。
- ・各国意見に基づいた議論の結果, 用語および定義 を中心に文言追加や変更, 並び替え等を行った。
- ・議長が辞任したため、交代候補を検討している。 決まり次第 TC127/SC2 CIB (委員会内投票)を 行う。
- ・技術的コメントが多いため第2次CD投票を行い, 日程を48ヶ月に延長予定。
- ・前回の WG で、4 General requirements(設計)と 6 Performance requirements (性能) に再編したが、 今回の WG でいずれも 4 General requirements に 再統合し、4.1 から 4.7 に再整理した。

5 主な審議内容

用語および定義を中心に、以下の項目等について文

言追加や削除,変更,並び替え等を行った。

- ・1 Scope から non-ride machine と remote control machine without a ride on station を除いた。
- ・3.1.2 power-assisted steering system と 3.1.3 fully powered steering system を統合し、いずれ も New 3.1.2 powered steering system とした。
- ・3.5 steering control element, 3.5.1 principle steering control element, 3.5.2 alternative steering control element を再定義した。
- ・4 General requirements (設計要求) と 6 Performance requirements (性能要求) を 4 General requirements に再統合し、以下の 4.1 から 4.7 に再整理した。
 - 4.1 Required steering systems
- 4.2 All steering systems
- New 4.3 Primary steering systems
- New 4.4 Secondary steering systems
- New 4.5 Powered steering systems

New 4.6 Steering systems with principal and alternative steering control elements

New 4.7 Steering systems control safety

- ・New 4.7.2 (旧 4.4.2) 10 km/h ~ 20 km/h の間の 要求事項に明確化し変更した。
- ・New 4.7.3 (旧 4.4.3) 20 km/h 以上と変更した。
- ・6 Performance requirement を ISO 3450 (ブレーキ) と同じ New 6 Performance tests に変更した。
- ・日本が提案した 7 Steering test course, Figure 2 のミニローダの試験コースを縮小したいという要望は、既に 7.3 や図の注釈で短いコースが規定されており、織り込み済みとのことで受け入れられなかった。
- ・7 Steering test course, Figure 2に「ローラとコンパクタも短いコースでも可」を追加した。
- ・New 8.4「ローラとソイルコンパクタは振動せず に試験すること」を追加した。
- ・日本が提案した「ランドフィルコンパクタとソイルコンパクタはゴムタイヤに履き替えて試験して

もよい」という要望は、New 8.5 として追加した。

- ・日本が提案した「10.2.1 前進最高速度 15 km/h 以下の機械は 50 m で試験してもよい」という要望は受け入れられ、文言を追加した。
- ・New 11 Test report を追加した。ISO 3450 を参考に記載項目を検討した。

CD 投票に際しての各国意見 (N28) について, US 5.2.1 まで議論し終了した。

6 その他

・CEN とのウィーン協定の手続きについて検討し、 事務局(スウェーデン)が早期評価を行い、手続 きの同期を図ることとした。

7 今後のスケジュール

技術的コメントが多いため、第2次CD投票を行うことを検討している(詳細日時は未定)。投票期間を考慮し、現在の36ヶ月の予定を48ヶ月に変更するようSC2事務局に提案し、CIBを行う予定。延長に伴い、

前回WG会議で想定した開発日程は下記の通り変更となる。

- · 2017 年 4 月→ 2018 年 4 月 DIS 投票
- ·2018年4月→2019年4月 ISO 発行

次回 WG: ISO 6750 と連続して開催する。2017 年 1月. 場所未定 (フランクフルト又はロンドン)。

参考資料

N27: 今回の WG 会議議事案 SC2/N1239: CD 投票用案文 N28: CD 投票の際の各国意見

N30:各国意見(N28)に対する今回のWG会議の検

討結果

N31: 今回の WG 会議の公式議事録 <u>※今後追加されると思われるもの</u> Nxx: 第2次 CD 投票用の改訂案文

